

第1回 鳥取市市民自治推進委員会 議事概要

1 日 時 平成30年5月1日（火） 15:00～17:00

2 場 所 鳥取市役所本庁舎 4階第3会議室

3 出席者

(1) 委 員 中川委員長、下澤委員、上田委員、佐々木委員、藤田委員、大島委員、有田委員、池井委員、鈴木委員（順不同）9名出席

(2) 鳥取市 安本地域振興局長、（協働推進課）福島課長、宮崎課長補佐、西尾係長、平野主事

(3) 傍聴者 なし

4 議 事

(1) 協議事項

②市民まちづくり提案事業（市民活動促進部門）審査会委員の選出について

(委員長)

協議事項の内容を考慮して、②、④、①、③の順に協議したい。

(事務局)

【資料2】説明

(委員長)

これまでの傾向を見ると、何年かやっている団体が応募してきているということと、助成件数自体は新規団体に関しては減少傾向がみられるということがある。いろいろな市民団体の活動が見て取れる経験は積めると思う。日程が決まっているので、どなたかやってみたいという方はおられるか。

立候補により、鈴木委員に決定。

④協働のまちづくりに関するアンケートと意見交換の実施状況について

(事務局)

【資料3】説明

(委員)

61地区あるが、自治会とまち協と公民館の関わりが全部違うため、それぞれの立場、パターンによって出てくる意見が全部違うと思う。もう一度きちんと整理した方がいいのではないか。

(委員)

類型化されてないのに、羅列しても混乱するだけ。これからどう使っていくつもりなのか。どうまとめてどう生かそうとしているのか。

(事務局)

今後、内容について整理をする必要があると思っている。現段階では意見交換やアンケートで出てきた結果を、報告させてもらっている。

(委員長)

次回までに分類をしていただき、それぞれの背景や、エリアによって出ている傾向がもう少し見られると、今後のモデル地区選定にも話が進められると思う。

①平成30年度活動計画（案）について

(事務局)

【資料1】説明

(委員長)

年間を通じてまちづくり協議会や公民館のあり方について、地域に入って調べてもらったことや、分類したことをまとめるということと、昨年開催しなかったまちづくりフォーラムで、これまで議論したものに対して市民の方々に認識してもらうような企画ができればいい。参考資料の地域組織のあり方検討の進め方についても説明をお願いしたい。

(事務局)

【参考資料】説明

(委員長)

アンケートと意見交換をして、仮説的にキーワードで分けると大きく3つ。組織運営をどうするか、資金自体をどうするか、公民館を市の運営から地域運営に移行する可能性があるのではないかと、ということ。それを試験的にシミュレーションして、地域でグループワーク等を通じて具体的に解決案を探るといような感じか。

(委員)

資金の一本化について。いいことだと思うが、どんな資金が流れているのか知らないことには話もできない。補助金の目的と金額といったものを提示してほしい。地域でもはっきりと知っている者は少ないのではないかと。

(委員)

公民館に関わっている組織にどこからどれくらい出ているかということをもとめていくべき。実態が分からないのに議論するのは無理。資料3に出てきているものがどういう意味なのか、それが課題になっているのか、ということを整理する必要がある。

(委員)

参考資料をみるが、絵に描いた餅みたいで全然だめだという感じがした。資料1とのリンクもできてない。シミュレーションしてくれとあるが、やる地区がなかったらどうするのか。

(委員長)

年間を通して協議が見込める事項がざっくりすぎて、何をこの月にやればいいのか分かりづらい。例えば6月はアンケートがパターン化されて整理されておらず、本当の課題・現状がどういうものか見る必要があるのと、モデル候補が見えてこない具体的な話ができないのでは。7～8月には、フィールドワークに入る地域の細かいサポート資料と、フィールドワークの内容の整理がないと、検討できない。9月～10月の会議は、フィールドワークの結果を踏まえて、モデルエリアから見えた、モデリングは何かというところは見えてきたほうがいい。フォーラムの流れ・中身はそこと紐づいてしまうので、一つひとつの工程を細かく見せないと、我々としてもどう判断していいかわからない。

(委員)

全く逆説の話だが、最近私が考えるのは、もしまちづくり協議会がなかったら

どうするのかということ。そういうことを考えることでもっとあぶり出すことができるのではないか。特に今公民館職員が充足していない中で、まちづくり協議会がなかったら公民館職員や、補助金の40万円が不要になる。そういうのも一つの見方ではと考えている。

(委員)

まちづくり協議会、公民館の目的と業務はなんなのか。公民館運営委員会とまちづくり協議会を一緒にしているところがあるが、目的も違うのに、同じような人間が充て職で出るから一緒にするのだろうと思う。それなら都合だけでやっているだけで本来の目的を達してないのではないか。そもそも何のためのまちづくり協議会、自治連合会なのか。そこをはっきりした上で議論を進めないといけない。地域にはたくさん団体があがるが、それぞれが自分達のまちづくりに切実感があって目的をもって作られた組織。まちづくり協議会はトップダウンでできた。それから10年経って果たしてそれが本当に機能しているのかどうかということと、そもそもこの組織はなんのための組織で、裏付けとしてどんな財政的支援が必要なのかといったことを底辺からしっかり考えていけば、自ずと結論は出る。その辺りを改善して行って本気でフォーラムで実のあるものにしていかないといけない。

(事務局)

平成20年に手を挙げられて作られたコミュニティ計画は、作成にあたって全住民に対してアンケートしており、それ自体は間違っているものだとは思っていない。ただ、10年経過してその見直しがなされているのかが問題だった。確かにトップダウンという印象を持たれていたとしたらそうかもしれないが、地域課題とその解決のためにやっていくことが計画で明らかにされたのは確かだし、実際計画や組織のあり方も見直しているところもあるのも事実。それらを踏まえて、全市において何が望ましいかを検討している。先ほどのアンケートを整理していかないといけない。本日お見せできているのは十分なものではないが、作業的には進めているし生の意見を聞く中で初めて分かった部分もあり、そこから進めていけたらと思っている。

(委員)

自分なりに聞いてみたが、まちづくり協議会の40万をうまく使っているところもある一方で、そうでないところもある。そういう仕分けをせずに箇条書きしてもいけない。個人的な思いだが、まちなかと山間部の自治会活動は全然違う。それをフォーラムでやったとき混乱するだけではないか。

(委員長)

どの地区がどのような状況かというのを委員に対して出してもらわないとどうしようもないというのがはっきりした。どこが良くてどこが悪いかが見えてこない、モデル提案のパターン化ができない。各地域の現状が見え、そこに対して具体的な話をしてもらわないと、我々委員会としては何とも言いようがない。

それと、市がやってきた施策の中で、これに関してはよくなかったのではないかということはある方がよいのではないかと。10年経って制度的にもたなくなってきたという現状は明らかにしないといけないと思うので、その総括はあると思う。

(委員)

まちづくり協議会ができた当時から地域の状況がどういう風に変ったか市の方で把握されているか。それがまちづくり協議会の意義であり、公民館と変わらないようでは何のためのまちづくり協議会なのか、となる。そこを分析したらいいと思う。また、公民館長を中心とした公民館が機能しているのか分析してほしい。

公民館の職員について、リタイアされた人で優秀な人は多くいる。若い人に頼むよりそういう人たちをお願いするほうがよいのではないかと。そういうことを地域に入ってみて検討していただきたい。

(委員)

私はまちづくり協議会が地域にできてとても良いと思っている。私の地域では、地域課題についてまちづくり協議会の各部門で対応している。それには金がかかるが団体には金があまりないため、まちづくり協議会の40万の補助金を生かしている。それぞれの12団体が目的を持って活動しているが、その活動では中々できないものをまちづくり協議会が地域をコーディネートして資金をそこに投入し、活動もみんなで行っていく、ということで機能している。

別件になるが、私の地域では、まちづくり協議会をトップに持ってくる組織改革をしてはどうかという課題もある。問題は機能するかどうかで、機能したらとてもいいものになるがそれが難しいから今足踏みをしている状態。

(委員長)

それぞれの地域に関わっている団体数やその重複など、その違いがどこでどう起きているのか、というのを一覧としてまとめていただきたい。情報をだして

もらって、いくつか類型化してもらって具体的にどう進めていこうかというところかなと思う。

③「参画と協働のまちづくりフォーラム」の開催について

(委員長)

何をするかについてぼんやりしている中でフォーラムをどうするかという話をするのは難しいと思うが、昨年からの会議でやってきたことを市民に知ってもらう機会があったほうがいいのではないか。去年は急いでやることはないということで延期したが今年を行う方向性でよろしいか。

(一同)

はい。

(委員長)

あとは規模について、関係者だけを呼ぶか、地域のキーマンを呼んでより市民に知ってもらう形にするかだが、何か意見はないか。

(委員)

実のあるものにしようと思ったらある程度人も集まらないといけないし、魅力的な議題でないといけない。そこで解決できるものは中々ないがそのあたりが難しい。

(委員長)

その場で解決するということは人数を多くしたとしても難しい。要は誰にまで火をつけるかということだと思う。規模としては各館から5人集めて300名ほどで考えておいたほうがいいのか。それともフォーラムという形で事例発表者が前でしゃべるのを聞いたり、我々の報告を会場に来られた方に聞いてもらうか。場所にもよるが各地区の実践事例等を展示しておいてもらい事例を知ってもらうか。イメージはそんな感じかと思う。

(委員)

事例の展示について、活動内容を知ってもらっても意味がない。うちと違うからということで終わる。組織としてこんな機能のさせ方がある、こういう風な運営の仕方があると、そちらに軸足を持って行かないといけない。

(委員長)

実際にフォーラムをするとすると、例えば豊岡市、雲南市のような仕組みを仕掛けていって実際にどう変わったか。まさに運営のところの事例を話していただける方に来ていただくというのが現実的には良いと思う。あくまで外のポスターセッションはうまくいっている地域はこんなことやっていると、見てもらえばいいだけなので、あまりそこは重要視していない。運営的な部分、仕組的部分というのを実際どう入れて、地域がどう対応しているかという話。人数的な規模感はなにかないか。

(委員)

何をするか次第。フィールドワークの時間がすごく短いと思う。日程を1月くらいまでずらしてはどうか。

(委員長)

私もフィールドワークはちょっと時間的に間に合わないのではないかと思う。あとは、庁内の条件整備も3か月では厳しい。スケジュールを少し後ろにさせてもらってもよいか。

(一同)

はい。

(委員長)

規模感としては各地域5～6人、関係諸団体、興味のある方に来てもらう感じで300～500人くらいか。

(委員)

ここでは一応の決着をつけるという方向でいきたい。そのつもりであれば、各地域で動員をかけてでも、より認識を高めてもらうという機会にしてもらう。

(委員長)

フォーラム自体はより認識を高めてもらって地域内のモチベーションを上げてもらうことが目的。そこで他に意見があればフィールドワークで取り上げていけばいいと思う。

(2) その他

(委員長)

今回は6月ということで、今日宿題がたくさん出たのでその政策スケジュールとか踏まえた形で声かけをいただければと思う。

(委員)

教育委員会にも公民館の絡みで審議会がある。そのところの情報も集められたらお願いしたい。

(委員長)

議事録もあると思うので資料をいただけたら助かる。